



平成 28 年 2 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 朝日ラバー  
代表者の役職名 代表取締役社長 渡邊 陽一郎  
(JASDAQ コード番号 5162)  
問 い 合 せ 先 管理本部企画グループ長 久保田 敬之  
T E L 048-650-6051

### 第 11 次三ヵ年中期経営計画（V-1 計画）の見直しについて

当社は、平成 26 年 5 月 13 日に、平成 27 年 3 月期を初年度とする「第 11 次三ヵ年中期経営計画（V-1 計画）」（平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月）を公表し、推進してまいりましたが、直近の受注状況を踏まえ今後の事業環境等を勘案した結果、最終年度となる平成 29 年 3 月期の目標を見直しいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 計画数値の見直し内容

	連結売上高	連結営業利益
当初計画	80 億円	8 億円
修 正	60 億～65 億円	精査中

「第 11 次三ヵ年中期経営計画（V-1 計画）」では、最終年度の平成 29 年 3 月期の連結数値目標として、売上高 80 億円、営業利益 8 億円を掲げ推進してまいりました。本中期経営計画では、ライフサイエンス分野のマイクロ流体デバイス製品について、最終年度の連結売上高目標を 12.5 億円としておりましたが、売上比率を高く設定していた主力案件の受注が大幅に少なくなる見込みであることや、他の開発案件の量産開始も遅れる見込みであることも踏まえ、今後の事業環境等を勘案した結果、**連結売上高目標を 60 億円～65 億円**に修正いたします。詳細な売上計画ならびにこれによる連結営業利益への影響は現在精査中であり、5 月の今年度の決算発表時に開示する予定です。

ライフサイエンス分野については、平成 29 年 3 月期の売上高は今期予測の 1 億円以上を目指してまいります。本分野の事業については、開発案件の市場への早期投入を引き続き進めるとともに、当社コア技術である分子接着・接合技術をさらに発展させ、多くの案件を受注し早期事業化できるよう開発を進めてまいります。現時点で平成 29 年 3 月期以降の売上高は未定です。

## 2. 新工場建設の延期について

平成 27 年 8 月 25 日に開示いたしました福島県白河市に建設する新工場につきまして、竣工予定を平成 28 年春としておりましたが、新工場で生産を予定しておりましたライフサイエンス分野のマイクロ流体デバイス製品の受注状況が、前述のとおり大幅に少なくなる見込みであることや、他の開発製品の量産開始も遅れる見込みであることから、**平成 28 年 6 月着工、平成 29 年 2 月竣工予定に延期**いたします。

なお、新工場と初期導入予定の生産設備につきましては、福島県の「平成 27 年度福島医療・福祉機器開発・事業化事業費補助金」の補助対象事業として採択され、交付決定をいただいておりますが、新工場の竣工が平成 28 年度に延期となることから、福島県に事業年度の変更手続きを申請中です。

現時点において、自動車分野では、内装照明用の LED キャップ「ASA COLOR LED」やスイッチ用ゴム製品、防水カバーなどが当初計画を超える受注があり、堅調に推移しています。

医療分野でも既存製品の原価改善が進み、収益性を高める活動を続けています。

その他分野の RFID タグ用ゴム製品などの開発製品では、受注や立上げ時期に変動がありますが、独自の技術で社会に貢献するものづくりを目指し、事業基盤の強化と整備等の重点施策について継続して推進し、持続的な成長を目指してまいります。

注：上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績、結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

以 上